

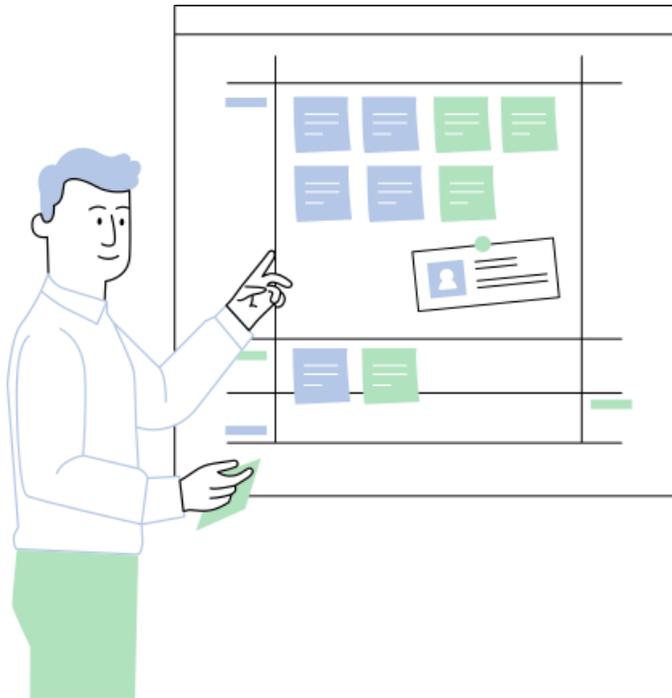
【概要版】

令和6年度 市民意向調査結果

■ 一般市民版

令和7年2月 小千谷市





目次

- 1 調査実施概要
- 2 調査結果
 - (1)回答者の属性
 - (2)現在の小千谷市や周りの様子について
 - (3)市政に関すること
 - (4)第五次小千谷市総合計画について
 - (5)市の暮らしについての自由意見

1 調査実施概要

(1)調査の目的

平成28年度を初年度とする第五次小千谷市総合計画が、令和7年度で計画期間が終了することから、次期小千谷市総合計画策定の基礎資料とするため実施したもの。

第五次小千谷市総合計画における基本目標の進捗状況や、暮らしやすさ等に対する評価を把握した。

(2)調査対象

令和6年6月28日時点で市内に住所を有する19歳から75歳までの男女各1,000人 計2,000人

※ 市内全人口に占める地区別人口の割合に応じて抽出

(3)実施方法

調査票を郵送により対象者へ配付

回答については、郵送回答とインターネット回答を併用

(4)実施期間 令和6年8月26日(月)から9月19日(木)まで

(5)有効回答数

	回答数(人)			回収率 (%)
	郵送	インターネット	計	
R6	402	415	817	40.9
(参考)R1	866	79	945	47.3

(6)調査項目

SA…単一回答、MA…複数回答

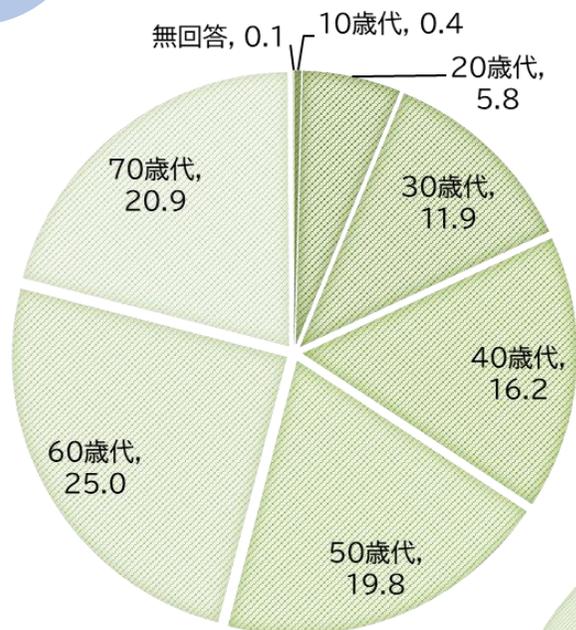
1 回答者の属性		
問1	あなたの性別を教えてください。	SA
問2	あなたの年齢を教えてください。	記述
問3	現在、あなたはどちらの地区にお住まいですか。	SA
問4	あなたは通算で小千谷市に何年住んでいますか。	SA
問5	現在、(あなたを含めて)同居しているご家族は何人ですか。	記述
問5付	その内訳を教えてください。	記述
問6	現在のあなたのご職業を教えてください。	SA
問6付	現在のお勤め先(通学先)の場所はどちらですか。	SA
2 現在の小千谷市や周りの様子について		
問7	あなたにとって、小千谷市は住みやすいところだと思いますか。	SA
問8	あなたはこれからも今お住まいの地域で、ずっと暮らしていきたいと思いますか。	SA
問8付	どこに引っ越したいと思いますか。	SA

2 現在の小千谷市や周りの様子について		
問9	今お住まいの地域で、ずっと暮らしていきたいという主な理由は何ですか。	MA
問10	今お住まいの地域以外に引っ越したいという主な理由は何ですか。	MA
問11	小千谷市が以前(約10年前の状況)に比べて、魅力あるまちになってきたと思いますか。	SA
問11付	そのように回答した理由を教えてください。	記述
問12	あなたのお子さん又はお孫さんの世代にも、小千谷市に住んでほしいとお考えですか。	SA
問13	あなたのお子さん又はお孫さんの世代に、将来小千谷市に住みたいと思ってもらうには、どのような環境が必要だと思いますか。	MA
問14	小千谷市に住んでいて、自慢できるものは何だと思いますか。	MA
3 市政に関すること		
問15	あなたは市政に関心がありますか。	SA
問16	小千谷市は、市民の意見や要望などを市政に反映していると思いますか。	SA
問17	あなたは、市政に関わる様々な情報をどこから得ていますか。	MA
問18	あなたは、市政に関わる意見があるとき主にどうしますか。	SA

4 第五次小千谷市総合計画について		
問19	あなたは、小千谷市の第五次総合計画における、次の施策についてどのように感じていますか。「現在の評価」と「今後の方針」について、それぞれあてはまるものを選択してください。	SA
<p>【基本目標1】「人を育み文化の香るまちづくり（教育、文化、スポーツ）」の施策について</p> <p>【基本目標2】「子育てにやさしく健康長寿で 支えあうまちづくり（福祉、健康、医療）」の施策について</p> <p>【基本目標3】「創造性と活力あふれる産業の まちづくり（産業）」の施策について</p> <p>【基本目標4】「魅力ある都市空間創出と暮らし やすいまちづくり（都市基盤）」の 施策について</p> <p>【基本目標5】「自然を活かした調和と安心の まちづくり（防災、環境、克雪）」の施策について</p> <p>【基本目標6】「ふれあい、にぎわい、暮らし 続けたいまちづくり（交流、市民参加）」の施策について</p> <p>「計画推進のために」の施策について</p>		
5 自由記述		
問20	小千谷市は、今後どのようなまちを目指していくべきだと思いますか。市政に対するご意見やお困りのことなど、ご自由にお書きください。	記述



2 調査結果 (1)回答者の属性

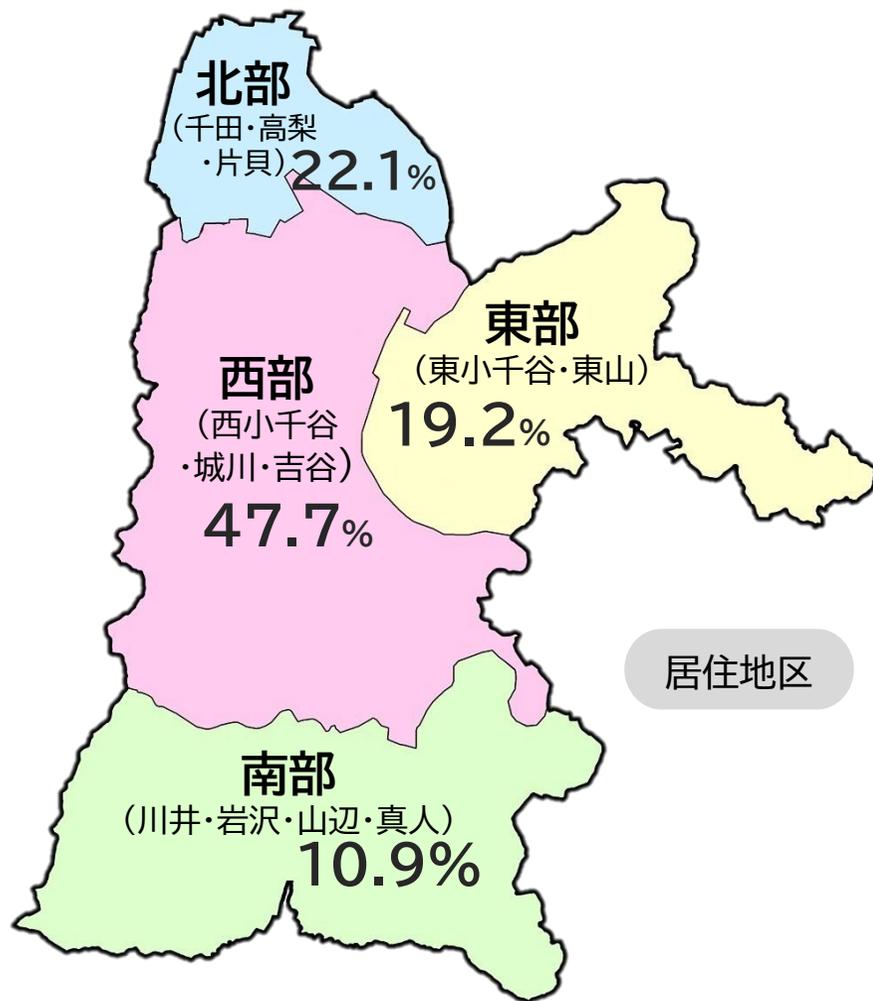
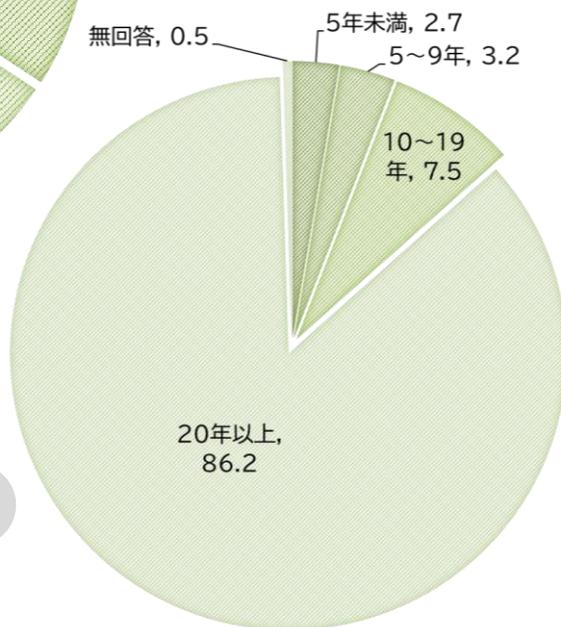


年齢

単位:%

居住年数

単位:%



居住地区

(2)現在の小千谷市や周りの様子について

POINT1

住みやすいと感じる人は



70.0%

・住みにくいとを感じる人は**10.9%**

・年代別にみると、70～75歳の**98.8%**が「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答している

・地区別にみると、南部が住みにくいとを感じる人が多い

POINT2

将来も小千谷市で暮らしたいと思っている人は



73.6%

・引っ越したいと思っている人は**25.7%**

・地区別では、南部が**49.4%**と定住志向が最も低い
(他3地区の平均は**76.8%**)

希望転居地域は

**小千谷市以外
の新潟県内**

が最も多い **45.2%**

POINT3

将来も小千谷市で暮らしたいと思う理由

- 1位 地域になじみや愛着があるから **21.1%**
- 2位 生まれた場所だから **14.1%**
- 3位 自然環境に恵まれているから **12.1%**

別の場所で暮らしたいと思う理由

- 1位 雪の多さ、冬の寒さが厳しいから **26.9%**
- 2位 買い物や医療など日常生活が不便だから **17.2%**
- 3位 道路や除雪など生活環境が良くないから **16.0%**

POINT4

以前に比べて魅力あるまちになったと感じる人は

23.0%

・魅力がなくなったと感じる人は**30.5%**

■主な意見

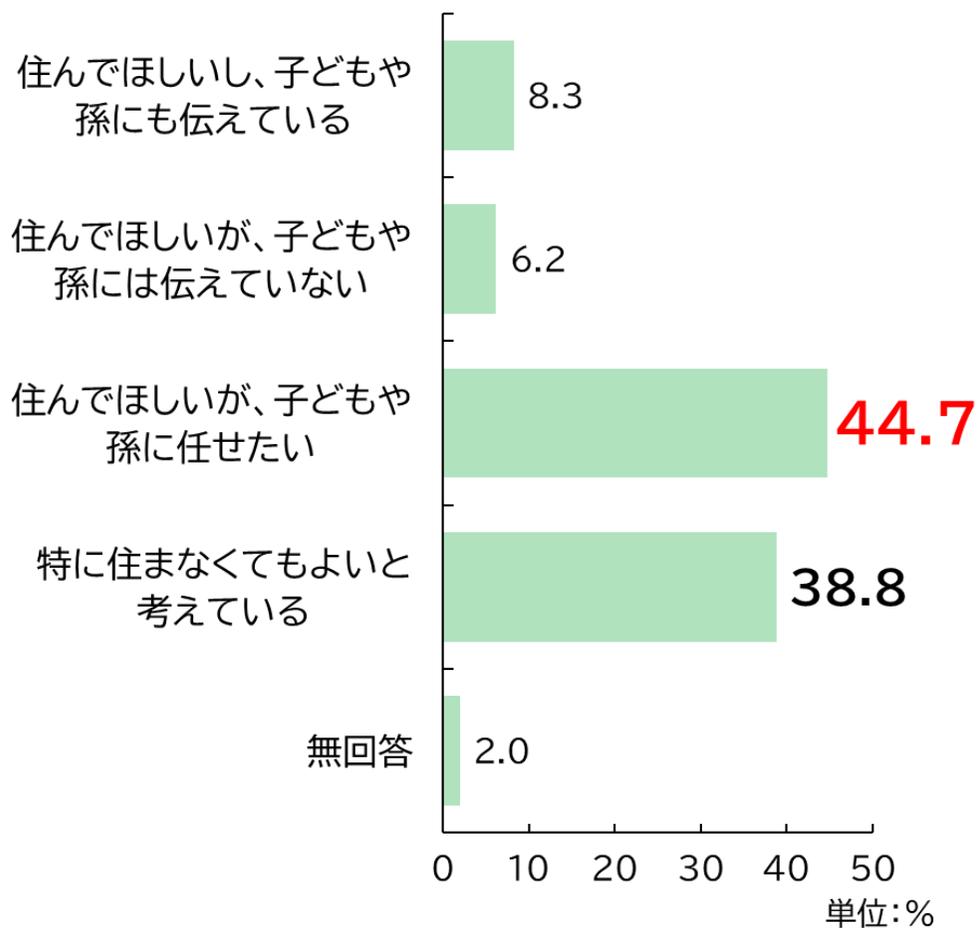
・病院や公園の整備、子どもの医療費無償化など、子育てしやすい環境づくりが進められている。

・市民としては特に変化を感じられず、魅力的な要素も見つけれない。

・高齢化や少子化、若者の市外流出により、地域全体の活気が失われている。

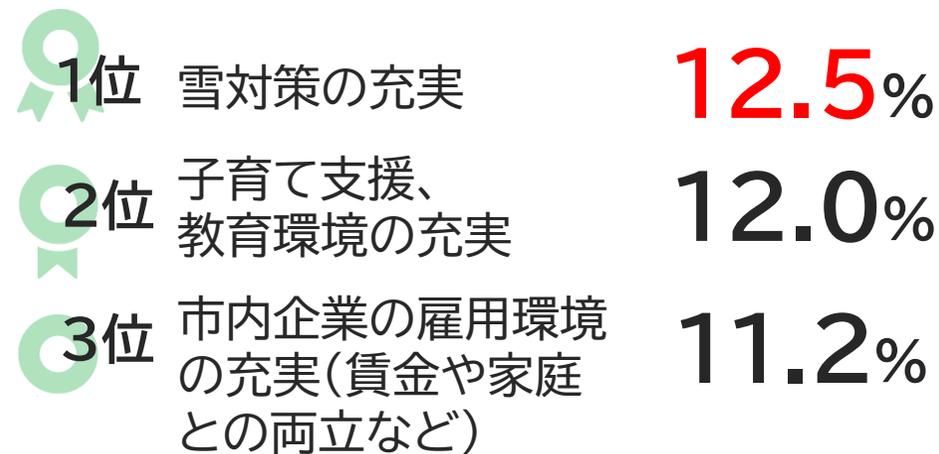
POINT5

子どもや孫の世代にも、
小千谷市に住んでほしいと思うか



POINT6

子どもや孫の世代に
将来小千谷市に住みたいと思って
もらうために必要なもの



POINT7

小千谷市の自慢できるものは



1

へぎそば

18.9%



2

錦鯉

15.9%



4位

魚沼産コシヒカリ
などの農産物

10.3%

5位

おぢやまつり

6.9%

3

片貝まつり

12.4%



(3) 市政に関すること

POINT8

市政に関心がある人は



・関心がない人は**16.7%**

・年代別にみると、40代、70～75歳の関心が比較的高くなっている

POINT9

市が市民の意見や要望を市政に反映していると思う人は



・反映していないと思う人は**20.6%**

・「どちらともいえない」と回答する割合が最も多く、約6割を占める

POINT10

市政に関わる情報を得る方法は



2位 回覧板 **16.4%**

3位 人づてに聞く **11.7%**

(4) 第五次小千谷市総合計画について

第五次総合計画に掲げている6つの基本目標及び「計画推進のために」に基づく全25の施策について、市民の評価を次の方法で得点化し、満足度と重要度の2つの指標に集約する。
点数が高いほど、満足度／重要度が高い。

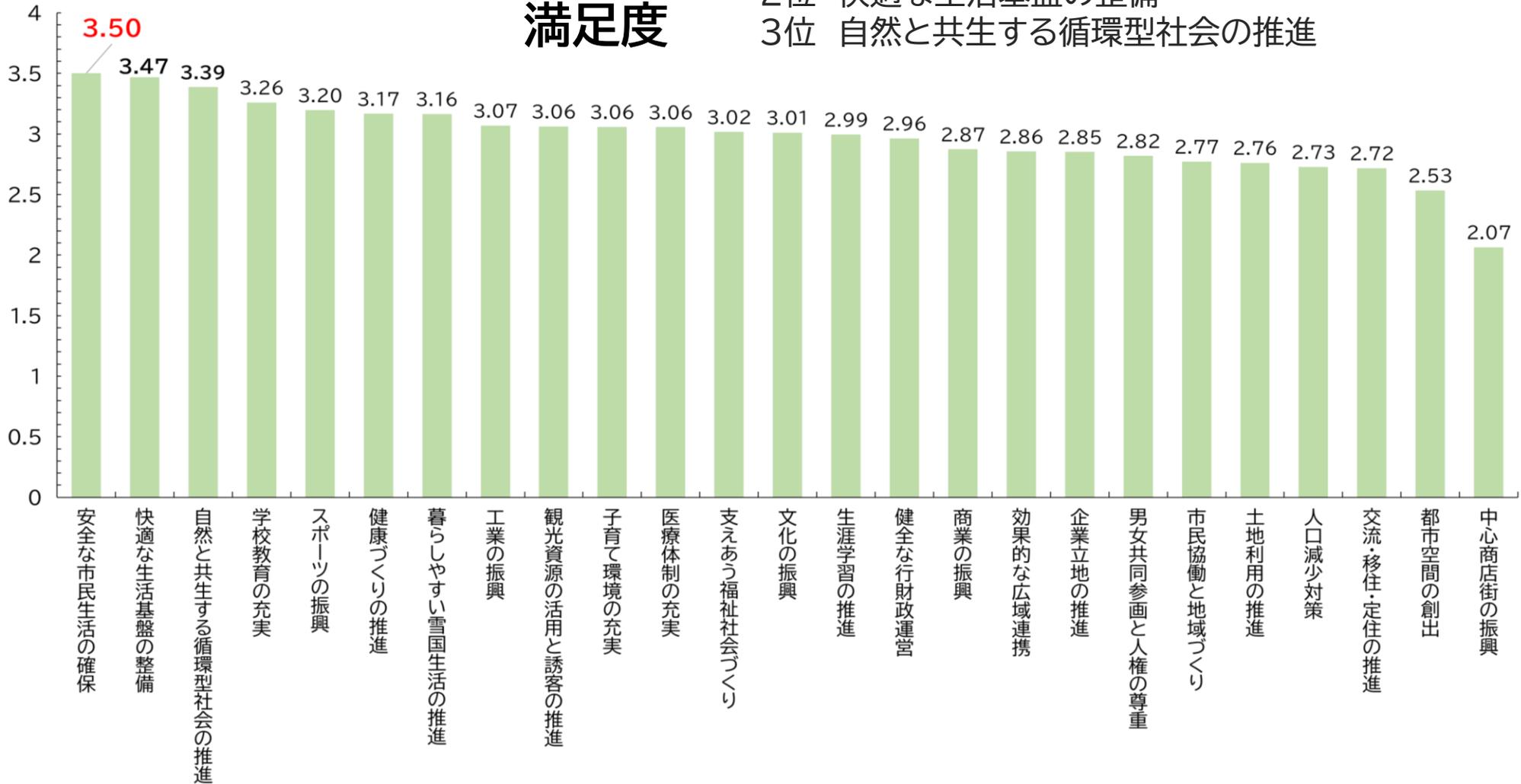
$$\begin{array}{l} \text{満足度} \\ \text{重要度} \end{array} = \frac{(a\text{回答人数} \times 5\text{点}) + (b\text{回答人数} \times 4\text{点}) + (c\text{回答人数} \times 3\text{点}) + (d\text{回答人数} \times 2\text{点}) + (e\text{回答人数} \times 1\text{点})}{\text{有効回答数} \left(\begin{array}{l} \text{全回答数から「よくわからない・関心がない」と} \\ \text{回答した人数及び無回答の人数を除いた数} \end{array} \right)}$$

項目	a	b	c	d	e
点数	5点	4点	3点	2点	1点
満足度	達成している	ある程度達成している	道半ばである	あまり達成できていない	やっているとは思えない
重要度	重点的に取り組む必要がある	ある程度重点的に取り組む必要がある	どちらともいえない	ある程度他の施策を重視する必要がある	他の施策を重視する必要がある

POINT11

満足度

- 1位 安全な市民生活の確保
- 2位 快適な生活基盤の整備
- 3位 自然と共生する循環型社会の推進



■ 年代別 満足度上位3項目

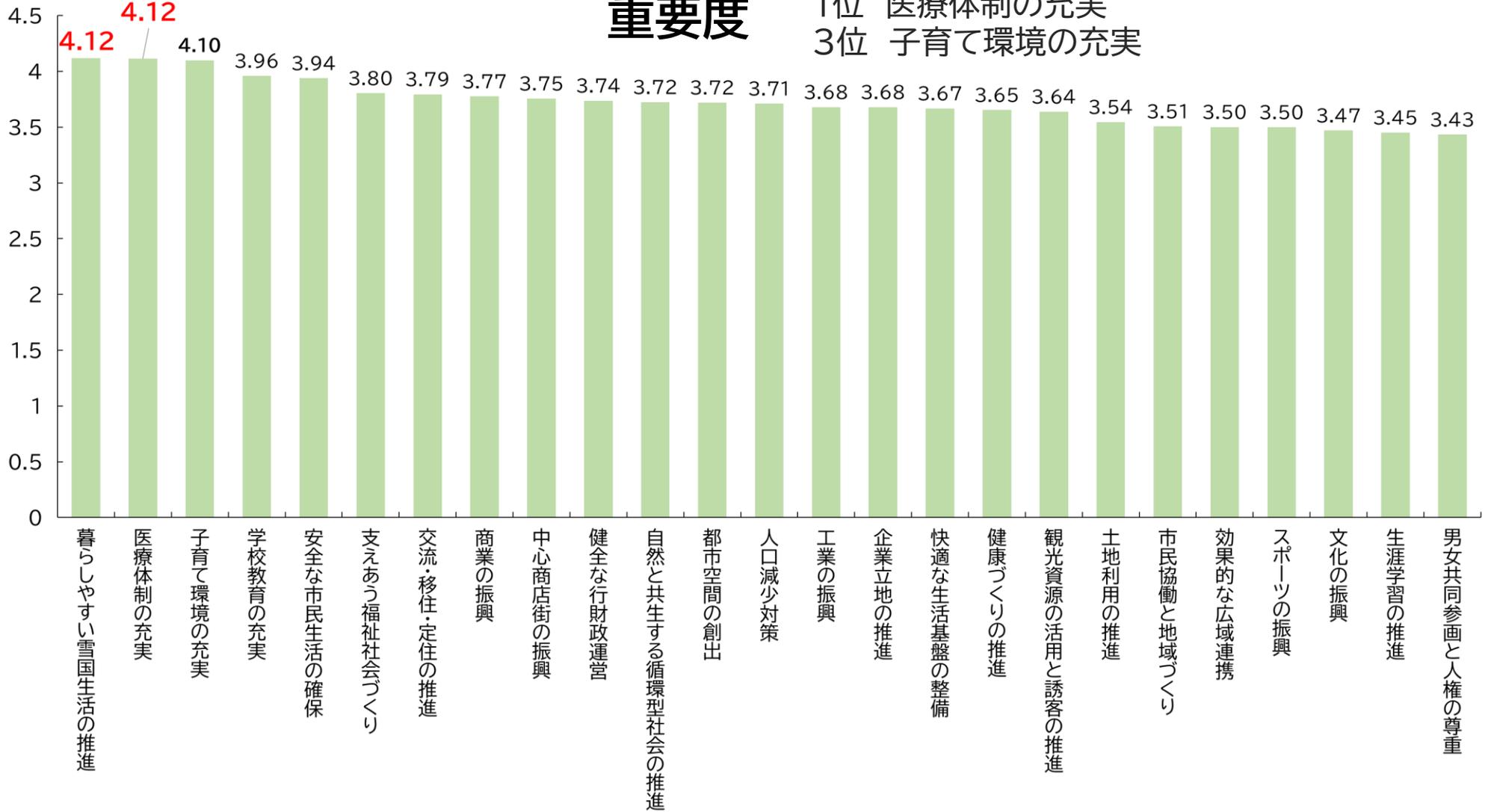
	第1位	第2位	第3位
市全体	基本目標5 ①安全な市民生活の確保	基本目標4 ②快適な生活基盤の整備	基本目標5 ②自然と共生する循環型社会の推進
(N=816)	(3.50)	(3.47)	(3.39)
18~29歳	基本目標2 ②健康づくりの推進	基本目標5 ①安全な市民生活の確保	基本目標5 ②自然と共生する循環型社会の推進
(n=50)	(3.77)	(3.73)	(3.71)
30~39歳	基本目標4 ②快適な生活基盤の整備	基本目標5 ①安全な市民生活の確保	基本目標1 ③文化の振興
(n=97)	(3.56)	(3.50)	(3.34)
40~49歳	基本目標4 ②快適な生活基盤の整備	基本目標5 ①安全な市民生活の確保	基本目標5 ②自然と共生する循環型社会の推進
(n=132)	(3.46)	(3.40)	(3.38)
50~59歳	基本目標5 ①安全な市民生活の確保	基本目標4 ②快適な生活基盤の整備	基本目標5 ②自然と共生する循環型社会の推進
(n=162)	(3.50)	(3.42)	(3.36)
60~69歳	基本目標4 ②快適な生活基盤の整備 基本目標5 ①安全な市民生活の確保		基本目標5 ②自然と共生する循環型社会の推進
(n=204)	(3.45)		(3.28)
70~75歳	基本目標5 ①安全な市民生活の確保	基本目標5 ②自然と共生する循環型社会の推進	基本目標4 ②快適な生活基盤の整備
(n=171)	(3.60)	(3.54)	(3.45)

※「N」（Number Of Cases の略）は、設問に対する回答者の総数を示し、「n」は各年代における回答者数を示す。

POINT12

重要度

- 1位 暮らしやすい雪国生活の推進
- 1位 医療体制の充実
- 3位 子育て環境の充実

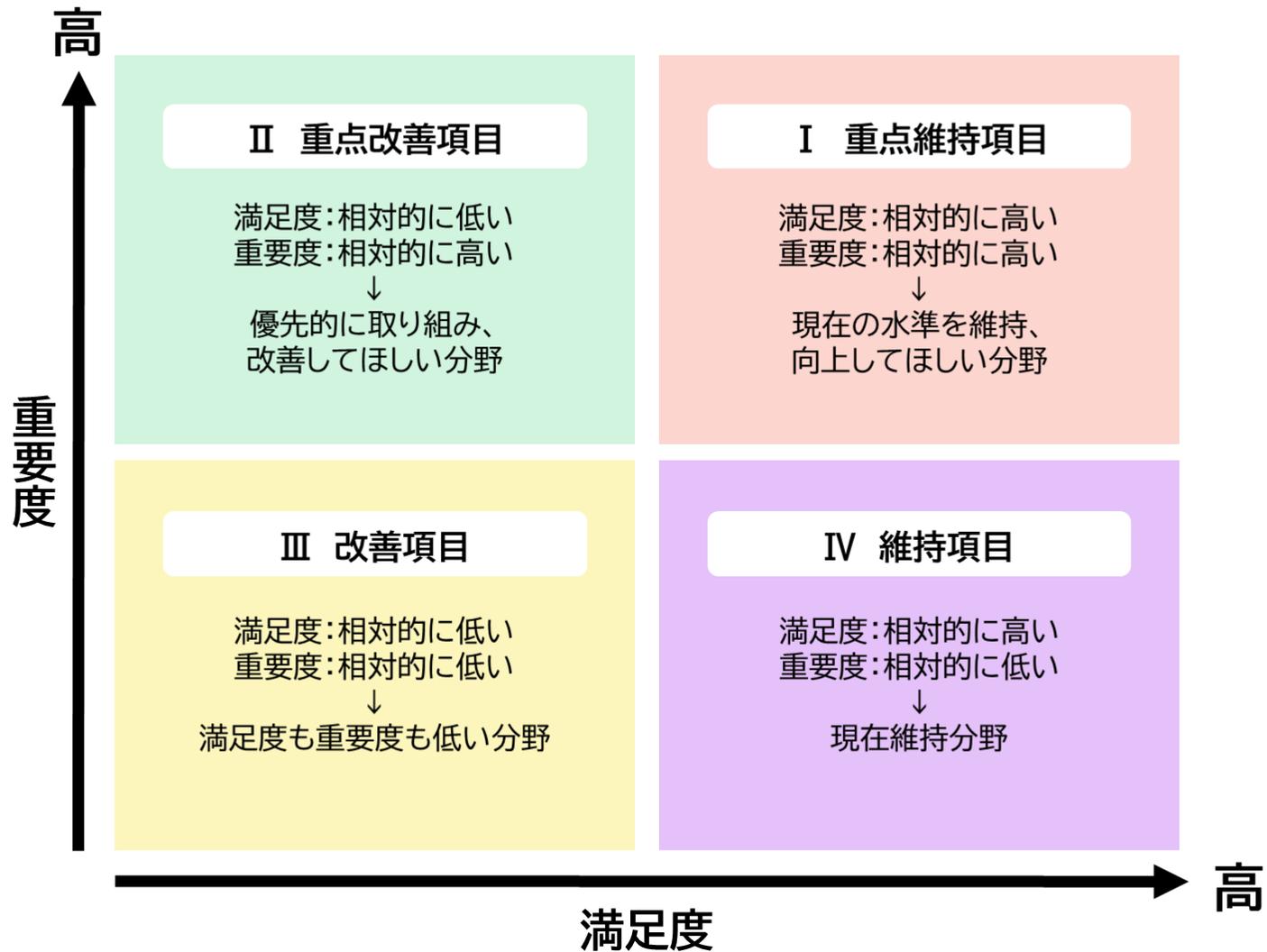


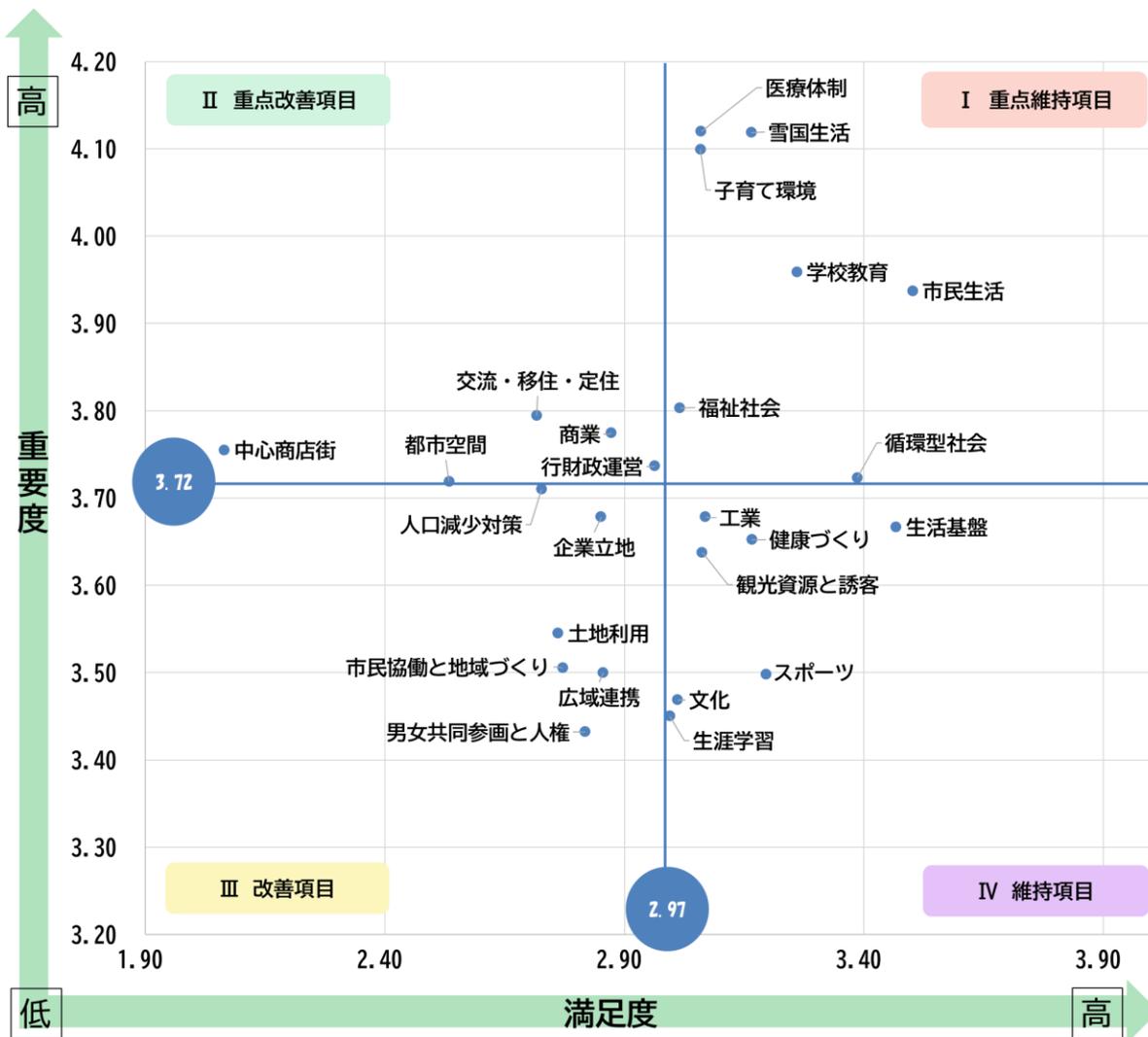
■ 年代別 重要度上位3項目

	第1位	第2位	第3位
市全体	基本目標2 ③医療体制の充実 基本目標5 ③暮らしやすい雪国生活の推進		基本目標2 ①子育て環境の充実
(N=816)	(4.12)		(4.10)
18~29歳	基本目標5 ③暮らしやすい雪国生活の推進	基本目標2 ①子育て環境の充実	基本目標3 ②中心商店街の振興
(n=50)	(4.36)	(4.27)	(4.17)
30~39歳	基本目標2 ①子育て環境の充実	基本目標1 ①学校教育の充実	基本目標2 ③医療体制の充実
(n=97)	(4.35)	(4.21)	(4.18)
40~49歳	基本目標2 ①子育て環境の充実	基本目標5 ③暮らしやすい雪国生活の推進	基本目標1 ①学校教育の充実
(n=132)	(4.20)	(4.10)	(4.07)
50~59歳	基本目標2 ③医療体制の充実 基本目標5 ③暮らしやすい雪国生活の推進		基本目標2 ①子育て環境の充実
(n=162)	(4.14)		(3.96)
60~69歳	基本目標5 ③暮らしやすい雪国生活の推進	基本目標2 ③医療体制の充実	基本目標2 ①子育て環境の充実
(n=204)	(4.13)	(4.11)	(4.04)
70~75歳	基本目標2 ③医療体制の充実	基本目標2 ①子育て環境の充実	基本目標5 ③暮らしやすい雪国生活の推進
(n=171)	(4.14)	(4.02)	(3.98)

※「N」（Number Of Cases の略）は、設問に対する回答者の総数を示し、「n」は各年代における回答者数を示す。

満足度を横軸、重要度を縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を中心として、各施策を4つの領域に分類することで、その分布した領域から当該施策に対する市民ニーズ等を読み取る。





POINT13

II 重点改善項目 となる施策

- 1 商業の振興
- 2 中心商店街の振興
- 3 都市空間の創出
- 4 交流・移住・定住の推進
- 5 健全な行財政運営

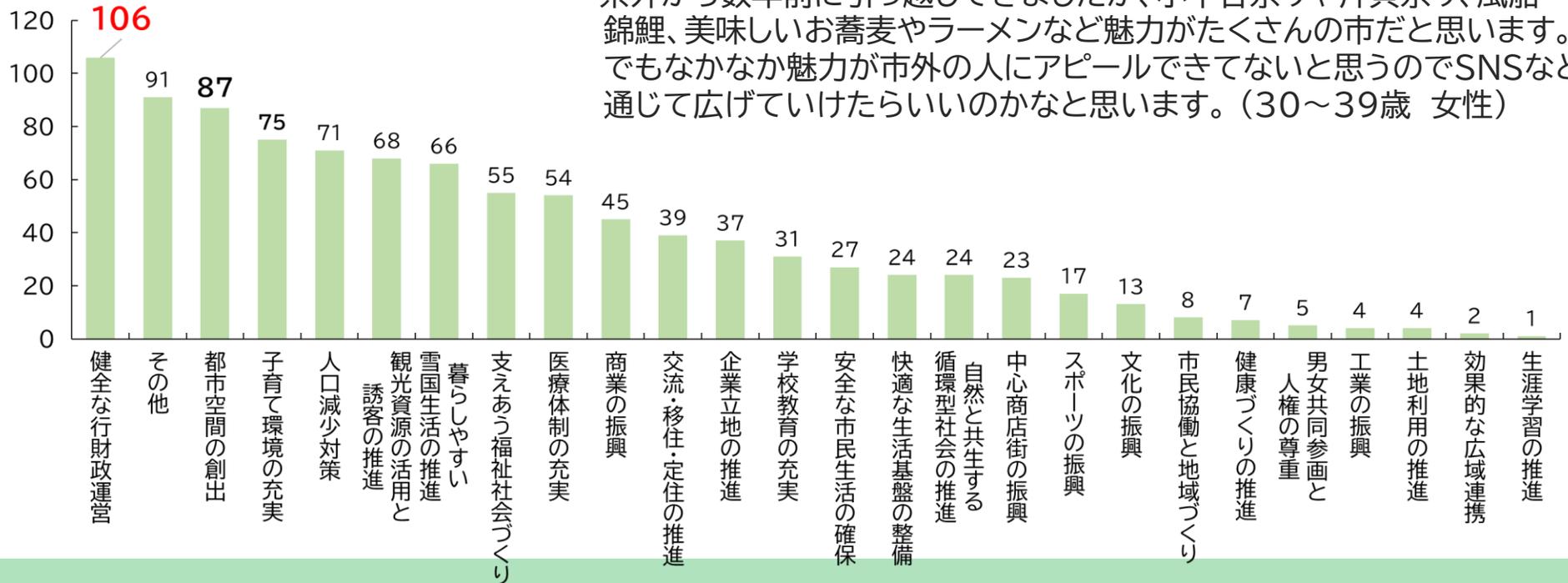
(5)市の暮らしについての自由意見

自由意見を現行の総合計画の7分野に読み分けると、「健全な行財政運営」についての意見が最も多く、「都市空間の創出」、「子育て環境の充実」が続く。

■「健全な行財政運営」に関する主な意見

- ・過疎化、少子高齢化は日本のトレンドで、地方はその最前線であり、今後の発展は極めて難しいと思います。そのため、上手な衰退の仕方を模索すべき段階に既に入っていると思います。市政にAIやITを活用し効率化を図り時間やコストを抑えていくべきだと思います。(20~29歳 男性)

単位：件



- ・県外から数年前に引っ越してきましたが、小千谷祭りや片貝祭り、風船一揆、錦鯉、美味しいお蕎麦やラーメンなど魅力がたくさんだと思います。でもなかなか魅力が市外の人にアピールできてないと思うのでSNSなどを通じて広げていけたらいいのかなと思います。(30~39歳 女性)